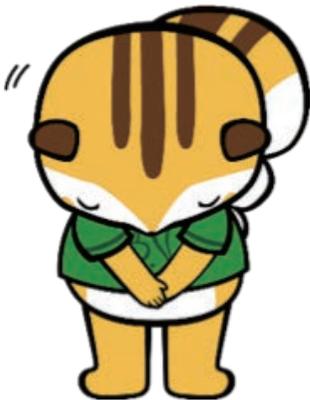


たちばな

2021.4.1



品川キャンパス150周年記念館



新型コロナウイルス感染症に伴う本学の対応につきましては
大学公式ホームページ (<http://www.ris.ac.jp>) にて随時
公開しております。



立正大学校友会
Facebook



立正大学校友会
公式LINE

立正大学校友の皆様へ

第34代立正大学長・立正大学校友会長 吉川 洋



立正大学は、9学部16学科と7研究科を擁する大学院から構成されており、2022年に開校150周年を迎える日本屈指の長い歴史と輝かしい伝統を誇る大学です。本学部のいずれの学部、研究科とも崇高な教育理念

のもとに、学生一人ひとりの確かな学習能力の向上を図るべく真摯かつ丁寧な取り組みを着実に推し進めるのは当然のことながら、その多彩な個性と自主性を尊重し、豊かな情操と道徳心を養えるよう、「真実・正義・和平」を標榜する本学の建学の精神に根ざした手厚くきめ細かい教育を実践しています。モラルを礎に置き専門分野を追求する『「モラリスト×エキスパート」を育む。』というブランドビジョンへの取り組みを進める立正大学は、各分野の第一人者と気鋭の若手教員からなる教授陣のもと、学習者中心の教育観に立ち、高潔な徳性の涵養と強靱な知性の創造を目指すことを基本理念に据えており、また本学の大学院の各研究科は、名実ともにその伝統と風格にふさわしい最高水準の陣容を整えて、教育研究環境の一層の充実を図るとともに、グローバル化・情報化社会に対応した創造性豊かな優れた研究人材の育成を目指しています。

今年度より、立正大学熊谷キャンパスには、本学の9番目の学部となるデータサイエンス学部が開設され、教育機関として新たな一步を踏み出しました。ビッグデータの時代、世の中はデータによって動いており、データサイエンスはこうした時代の変化の中で新たに生まれた学問分野です。20世紀は『クルマの世紀』でモータリゼーションが社会を変えましたが、21世紀は『データの世紀』です。車の運転にドライバーが必要なように、データを駆使できる人材が必要であり、文系理系にかかわらず、実社会で価値創造ができる人材を育ててゆきます。「キャリアにつながる」

をキーワードとして、データサイエンスのさまざまな分野で実績を持つ教授陣による講義と、実際にデータを用いたビジネスモデルを展開している企業や組織と連携したインターンシップやフィールドワークなどの実践的な学びからなるカリキュラムで、データサイエンスを深く理解した専門家から、実社会での応用を意識し即戦力として経済社会の価値創造に貢献する人材まで、幅広いデータサイエンティストを育成すること、また、データサイエンスの日進月歩の技術進歩に対応するため、卒業生が大学に戻って新しい知識を習得する機会や最新情報が提供される場を用意するなど、卒業生とのネットワークを活かした教育・研究体制の構築を目指しています。

また、2022年に開校150周年記念を迎えるにあたり、開校150周年プロジェクトの一つとして2019年度から着工された150周年記念館が、今年度完成しました。建物間口を最大限に利用して山手通りからキャンパス内に人々を誘う大階段広場を計画し、街とキャンパスを直接結び付けます。館内には大小さまざまな教室と「ロータス（蓮）」の名を冠したロータスギャラリー、ロータスホール、多目的ラウンジや屋上庭園、新しい学食など、学生がさらに楽しく充実したキャンパスライフを送ることができるような施設が盛り込まれております。150周年記念館は、本学の入口であるとともに、学内外問わず多くの人々に愛され、活気に満ちた新しい空間としての役割となることが期待されています。

最後になりますが、今後の立正大学の発展と社会的認知の向上を考えると、卒業生、在校生、保護者、現元教職員など全ての校友の皆様のご活躍は、紛れもなく本学の財産となります。これからも、校友の皆様との親睦を一層深め、あわせて本学のさらなる発展に寄与したいと思っております。

学校法人立正大学学園開校150周年記念事業

立正大学学園開校150周年記念事業として、このたび（2021年2月17日）品川キャンパス150周年記念館』の竣工式を迎えることができました。新校舎は教室だけでなく様々な教育・研究施設、多目的ホールやギャラリー、また学生たちの集いの場所として食堂やカフェなどが充実した施設で豊かなキャンパスライフを実現します。着工から3年の歳月をかけ、新しい立正大学の顔となる学棟が山手通りに聳え立つことに立正大学関係者一同大きな喜びを感じております。さらに今春（2021年4月）、熊谷キャンパスには『データサイエンス学部（あらゆる種類のデータ情報を処理・分析して、そこから有用な情報を引き出すための学問）』が新設され、立正大学に新なる学術研究の拠

点が生じます。地球環境科学部、社会福祉学部と共にこれまで以上に熊谷市を取り巻く地域に根差した大学として存在意義を高めてまいります。

また、陸上競技部・駅伝部門については、2020年度の予選大会では初出場ながら総合32位の成績を修めました。コロナ禍における予選会は無観客ではありましたが、同窓生をはじめ多くの方々から激励のメッセージを頂きました。2021年度は全国レベルの駅伝大会に出場できるようにスタッフ一同丸となり邁進していく所存です。

校友会の皆様には、引き続き150周年記念事業に対しましてご支援をお願い申し上げます。

募 金 要 項

- 総事業費：150億円
- 募金名称：学校法人立正大学学園開校150周年記念事業募金
- 募金目的：150周年記念事業の実施に要する資金調達のため
- 募金目標額：15億円
- 1口あたりの寄付金額：
個人学生3,000円 一般1万円
(金額の多寡にかかわらず1口以下でも有難くお受けいたします。また複数口でのご協力もお願いできれば幸いです。)
法人（企業・団体等）：定めず
- 募集期間：2018年1月～2023年10月末日

※ご寄付のお振込みについては、同封の「立正大学学園開校150周年記念事業募金払込取扱票」をご利用ください

払込取扱票（見本）

■お問合せ先

学校法人立正大学学園 立正大学 総務部総務課
〒141-8602 品川区大崎4-2-16 TEL 03-3492-2681
E-mail gen@ris.ac.jp
開校150周年記念サイト <http://www.ris.ac.jp/150th/>



校友会主催 保護者懇談会開催のお知らせ

保護者懇談会は、保護者の皆様と立正大学の教職員が一丸となって、ご子息・ご息女の大学生活をサポートするために開催しております。

昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策により、対面での開催が出来ず、保護者の皆様にはご不便をお掛けいたしました。本年度は感染防止対策をしっかりと考慮した上で、全国12会場にて開催を予定しております。

保護者懇談会では近年特にご要望の多い就職関係のご相談に重点をおいております。就職に関する情報は早い時期にお聞き頂くことで、就職活動を迎える時の事前の準備につながることで、成績や学生生活のご相談は、学生と接する機会の多い教職員から直接お話を伺い頂くことが望ましいと思います。用途に分けてまたご都合に合わせてご参加ください。

なお、品川・熊谷の各キャンパス開催では、学生カウンセリングルームカウンセラーによる「学生相談からみた保護者と学生のコミュニケーション」に関する講演を行う予定です。

地方会場のご参加でもキャリアサポートセンター、学生生活課、学事課職員による専門的な相談にお応えし、幅広い内容に対応できるようにしております。

保護者懇談会は、同じ大学に通うお子様をお持ちの保護者の皆様同士の懇談・情報交換の場としてもご利用いただきたく存じます。

開催に関する詳細につきましては、5月下旬ごろに郵送にて保護者の皆様へ詳細をお送りさせていただきますので、内容をご確認ください。

お断り

- ◆本学では5月から10月までの期間クールビズを実施しております。
ノーネクタイ・ノージャケット等軽装で対応させていただきますのでご了承賜りたく存じます。
- ◆会場では記録用に写真撮影をさせていただきます。ホームページや会報誌等の広報媒体にて使用する場合がございます。
- ◆会場までの交通費等は各自にてご負担くださいますようお願い申し上げます。



令和3年度 校友会保護者懇談会開催日程（予定）

令和3年度の保護者懇談会を下記の日程と会場で開催いたします。学生生活や就職等に関する情報収集の場として大学の教職員と直接お話いただけ、同じ大学に在学するお子様をお持ちの保護者の皆様同士の交流の場としてご活用ください。

各回のお申込み方法につきましては、別途封書にてご案内申し上げますので、そちらでご確認ください。

*新型コロナウイルス感染症の状況、申込の人数によっては中止・日程変更・オンラインによる開催に変更させて頂く場合がございます。その場合には改めてご案内申し上げます。

*会場内ソーシャルディスタンスを保つため、申込締切日前でも、お申込人数によっては締切らせていただく場合がございます。ご参加をご検討の場合はお早めにお申込下さい。また、今年度につきましては、事前のお申込の無い方につきましては、大変申し訳ございませんが、ご参加頂けませんので、ご了承ください。

日 程	開催地	会場	申込締切日
7月11日（日）	北海道札幌市	ニューオータニイン札幌	6月18日（金） 必着
8月7日（土）	福島県郡山市	郡山ビューホテルアネックス	7月9日（金） 必着
8月8日（日）	宮城県仙台市	ホテルJALシティ仙台	
9月4日（土）	埼玉県さいたま市	TKPガーデンシティ PREMIUM大宮	7月30日（金） 必着
9月12日（日）	千葉県千葉市	ホテルグリーンタワー幕張	8月20日（金） 必着
9月25日（土）	広島県広島市	広島ガーデンパレス	
9月26日（日）	大阪府大阪市	大阪キャッスルホテル	
10月10日（日）	東京都品川区	立正大学品川キャンパス	9月17日（金） 必着
10月23日（土）	新潟県新潟市	ホテルグローバルビュー新潟	
11月13日（土）	静岡県浜松市	オークラクトシティ浜松	10月8日（金） 必着
11月14日（日）	福岡県福岡市	TKPカンファレンスシティ博多	
12月5日（日）	埼玉県熊谷市	立正大学熊谷キャンパス	11月5日（金） 必着

令和3年度 校友会事業計画

令和2年度事業報告・決算報告は5月以降校友会ホームページへ掲載いたします

【令和3年度事業の取り組み】

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策に伴い、対面による校友会行事を中止とさせていただき、オンラインでの開催、ホームページやSNS等の活用による情報提供を行いました。全てが初めての試みとなり卒業生・保護者の皆様には十分な対応では無かったかと存じます。令和3年度は、感染防止対策を十分に考慮し、対面による保護者懇談会・ホームカミングデー等の行事開催を予定しております。またホームページの内容・SNSの活用を充実させ、常に大学の状況をお伝えし、大学を身近に感じてもらえる方策に取り組んで参ります。

【個別事業について】

①校友会ホームページ・Facebook・LINEの運用管理と活用の充実

②生涯メールサービスの運用管理と活用拡大

利用に関する規定の整備と利便性、情報内容の充実を図っていく。

③会員向け広報告知

校友会報「たちばな」の年2回発行と併せて立正大学学園新聞（年2回）の発送により大学の現状の取組みや在学生の活躍・卒業生の活躍、近況等の情報を提供する。

④校友会案内リーフレットの作成

「立正大学校友会」の活動に関する紹介リーフレットを作成・配布を行う。

⑤在学生支援

- ◆成績優秀奨学生
- ◆大学院研究奨励金
- ◆課外活動助成
- ◆課外活動特別助成
- ◆英会話ラウンジ運営補助
- ◆海外インターンシップ・ボランティア活動奨学金
- ◆学園祭助成
- ◆入学記念品・卒業記念品の贈呈
- ◆感染症対策注意喚起用除菌スプレー配布

【同窓会との協働連携による支援】

- ◆ホームカミングデーでの地方物産展・懇親会等開催
- ◆体育会強化クラブへのお米支援
- ◆災害等による困窮学生への奨学金支援

【橋会（保護者の会）との協働連携による支援】

- ◆橋会奨励賞授与
- ◆新入生への防災キット配布
- ◆経済的困窮学生奨学金支援

⑥ホームカミングデー開催

令和3年度は品川キャンパスにて橘花祭（学園祭）開催日（11月初め）に合わせて開催予定。

⑥校友の集い（地域卒業生交流会）

各地域で活動をされている卒業生による交流会を開催。大学から先生方が参加しての講演会や在学生保護者向け就職説明会等実施予定。

⑦構成団体助成＝校友会の構成団体である同窓会・橋会・郵政会への運営等支援を行う。

⑧校友会創立15周年記念事業に向けての準備

⑨立正大学学園開校150周年記念事業への協力

令和3年度 立正大学校友会収支予算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収入の部

科目	令和3年度 予算	令和2年度 予算	増減
校友会費	117,460,904	128,120,000	△10,659,096
総計	117,460,904	128,120,000	△10,659,096

支出の部

科目	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	増減
入学記念品作成費	7,440,000	6,492,500	947,500
卒業証書（修了証書） ホルダー作成費	922,000	922,000	0
卒業記念品作成費	15,275,000	15,275,000	0
除菌スプレー作成費 （在学生配布用）	3,500,000	0	3,500,000
大学院生研究奨励金	1,000,000	1,000,000	0
校友会成績優秀奨学生 奨励賞賞金	9,600,000	9,600,000	0
課外活動助成金	450,000	450,000	0
課外活動特別助成金	11,800,000	11,800,000	0
校友会特別助成費	3,000,000	3,500,000	△500,000
学園祭・体育祭助成金	4,800,000	4,800,000	0
英会話ラウンジ補助費	2,000,000	2,000,000	0
海外インターンシップ 補助費	1,500,000	1,500,000	0
大学同窓会助成費	23,061,250	24,275,000	△1,213,750
郵政会助成費	900,000	950,000	△50,000
講師講演料	467,754	668,220	△200,466
雑給（業務補助）	352,800	735,000	△382,200
会議会合費	1,770,000	3,545,000	△1,775,000
旅費交通費	300,000	1,025,000	△725,000
通信運搬費	10,154,500	8,644,800	1,509,700
印刷製本費	8,383,000	10,358,137	△1,975,137
委託費	4,004,600	7,398,200	△3,393,600
手数料報酬	360,000	426,822	△66,822
公租公課費	20,000	20,000	0
賃借料	4,400,000	4,800,000	△400,000
校友会積立金	2,000,000	2,000,000	0
余剰金	0	5,934,321	△5,934,321
総計	117,460,904	128,120,000	△10,659,096

校友会費B等納入者芳名 (敬称略・県別苗字五十音順)

《令和3年8月1日～令和3年3月31日》

◆北海道

磯尾 延行
真鍋 郁郎

◆岩手県

高島 悟
大内 健弘
滝田 浩之
名久井 実
村野 栄司
涌田 広重

◆宮城県

佐藤 周
吉田 一彦

◆秋田県

加藤 博明
皆川 典子

◆山形県

川越 正彦
須貝 富夫
吉田 清美

◆福島県

佐藤 良宗

◆栃木県

川又 啓多郎

三上 隆敏

◆群馬県

後藤 信也

◆埼玉県

青田 哲郎
新井 正人
上村 三郎
大久保 禄郎
柿沼 房雄
桐谷 光男
佐藤 正和
渋谷 昌利
鈴木 規夫
塚越 良介
塚本 恵七郎
中根 邦夫
長澤 玲子
原沢 聡志

◆千葉県

遠藤 了義
勝田 紀彦
齊藤 岐代未
竹田 軍郁
藤井 秀司

◆東京都

天野 泰仁

伊東 信夫

岩田 宏之
岡本 淳子
加茂 佳史
栗田 美千也
塩原 耕一
鈴木 嘉昭
高橋 良一
多田 統一
田中 英治
中村 勝法
南雲 博明
野呂 文人
橋本 重喜
平林 ちよ子
丸岡 静
森田 直子
山本 玄勝
吉川 哲夫
米田 欣司

◆神奈川県

内田 れい
岡野 修
小島 勉
佐藤 則光
高橋 和也
山本 佳夫
吉浜 邦夫

◆新潟県

榎井 辰哉
諏訪 淳一
寺沢 正夫

◆富山県

末吉 観道
助重 雄久

◆山梨県

朝比奈 玄馬
藤崎 一宣

◆長野県

小林 英夫
福島 隆雄

◆静岡県

川手 海正
廣崎 本幸
福島 東

◆愛知県

大森 浩

◆大阪府

宮脇 由美

◆兵庫県

田村 正夫

◆和歌山県

森 泰教

◆島根県

蔵本 知宏

◆岡山県

山田 直子

◆広島県

吉村 均

◆香川県

石川 計夫

◆高知県

金岡 諦惠

◆福岡県

徳永 前啓

◆長崎県

田川 邦雄

◆大分県

日名子 空

◆沖縄県

古波蔵 保成



～校友会から卒業生・入学生へ お祝いとして記念品を贈呈～

卒業生の方へ卒業証書フォルダーとポータブル充電器・
ネームペンのセット、入学生の方へ校歌・学園歌入り
USBメモリーを贈呈しました。



『学内散歩』

外国語との諸縁を思う ～外国人教授との交流の時代～

立正大学特別荣誉教授 渡邊 寶陽

いよいよ新学部「データサイエンス学部」が熊谷校舎で発足することになったという。

吉川学長は、立正大学のルーツのことを語られる。平成元年の頃、明治5年から数えて《開校百二十年》に千葉県八日市場市の「飯高檀林」旧跡に《記念碑》を建立。当時、学監だった齋藤道愛名誉教授は檀林創始の1580年の頃は「大航海時代だった」と言っていた。

本学のルーツが織田信長の時代であることを想起すると、近代の「立正大学」の展開もそうした精神を継承しているものかと思われる。昭和24年の【新制大学】出発時は「仏教学部」「文学部」二学部であったが、昭和25年に「経済学部」設置。以降、「経営学部」「法学部」を相次いで設置。世間の耳目を集めた。さらにその後、「社会福祉学部」「地球環境科学部」「心理学部」を設置。今回の新学部設置は、新たな世界的動向を受けての快挙と思う。

新たな教授陣と入学生によって、充実した発展を遂げることを期待したい。

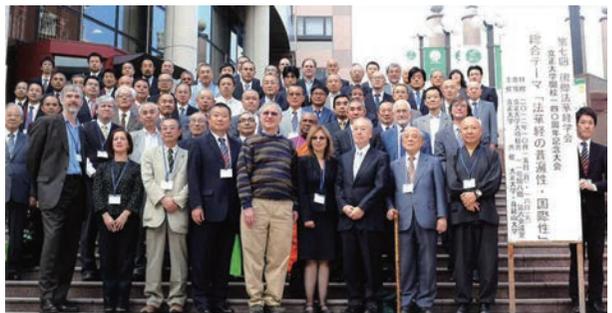
本学出身者で、世界に羽ばたいている同窓も少なくない。が、老骨となって記憶が鮮明でない恐れがある。筆者の周辺のことを誌しておきたい。

1984年（昭和59年）にハワイ大学のジョージ・タナベ教授、ウライ・タナベ教授夫妻の呼びかけで12月17日～21日に開催された「国際法華経研究会議」に仏教学部から十数名が参加。その翌々年（1986年）第二回の研究会議を引き受け、米国・カナダ・英国の大学の教授が来校した。その二年後には第三回がハワイで、4年後には第四回が再度本学で開催。その後、世界的規模で継続されたが、第七回も本学で開催した。

その前後に、現在、米国・プリンストン大学ジャクリヌ・ストーン氏（UCLA出身）、ロンドン大学教

授のルチア・ドルチェ氏（オランダ・ライデン大学出身）が本学日蓮教学研究所で研究を積み重ね、欧米で日本の宗教についての情報を提供する巨星となっている。このほか、ペンシルベニア大学大学院から、ヨーイチ・アイザワ氏（日系二世）が本学の修士課程に入学。後にNY州のコルゲート大学教授となった。そのほかには、日蓮宗開教師として渡米した木立随学氏（本学仏教学部宗学科出身）が米国の大学で学び、オレゴン州ポートランドの「ルイス&クラーク大学」で日本語の教授を努めた（現在 名誉教授）。

前記の「国際法華経研究会議」のアイデアは、NY「コロンビア大学」のバーバラ・ルーシュ教授が教え子のタナベ教授夫妻によって実現したと聞く。ルーシュ教授は、「研究会議」に毎回出席し、本学にも初期の二回とも出席した。ある夏の暑い日に、ルーシュ教授が、突然、愚生の元を訪れた。日本の皇室関係の『尼門跡』（尼寺）の研究を企図し、文部省やジャパン・ファンデーションを訪問したが、協力を否定されたということであった。わずかの資金をポケットマネーから提供したところ、奈良・京都の尼門跡十三箇寺の保全と研究を展開し、今は、日・米・欧に研究所を設置して活動している。上皇の家庭教師であったヴァイニング夫人は、クエーカー教徒で、彼女が10代の時、その関連のフレンド使節団の一員として来日した縁があって、宮内庁の援護があったらしい。東京芸術大学の美術館で『尼門跡展』が開かれた時、当時の平成天皇の侍従であった渡辺氏とお会いしたことがある。ルーシュ先生はペンシルベニア大学からNYのコロンビア大学に招請された縁で、「ドナルド・キーン研究センター」を設置したが、現在はペンシルベニアで設置の「中世日本文化研究所」をファンドごとコロンビア大学に移設し、同研究所の所長を務めている。



当時の大崎キャンパス：第七回 国際法華経研究会議

新年度にあたり卒業生・在学生・保護者の方に向けて

立正大学同窓会 会長 齊藤 岐代未



はじめに、卒業生・修了生と
そのご家族の皆様、ご卒業・ご
修了おめでとうございます。

皆様は、人生の節目を経過い
たしました。さぞや心待ちにさ
れていたことと存じます。在
学中の努力とその成果によっ
て、今日の晴れの門出となりま

したことをお祝い申し上げます。

さて、企業組織のルールや価値観は学生時代と異なり
ます。新入社員時代は、仕事をする土台を作る時期
です。まずは対話を通じて価値観を共有してください。
コロナ禍で友人に会えない時期が続くかもしれませんが、
立正大学で培った友情は社会人として役にた
ちます。多くの同窓生も皆様を待っているのです。勇
気をもって新しい一歩を踏み出し、確固たる地位を築
いてください。

これまで学んだ『課題を解決するための考え抜く
力』、『想定外の事態への対応力』、『他者を理解し共に
働く力』は、学長の教えの『人間力』に繋がるもの
で、社会人として求められる能力です。皆様はこの能
力を企業などで発揮することが求められているので
す。学びは卒業や修了で終わるのではなく、むしろこ
れからが本番です。学ぶことによって、想定を超える
困難も恐れることなく、常に変化する社会の先を読
み、未来を切り拓いていけます。立正精神を基に地道
に学ぶ努力をすることが、夢の具現化に繋がります。
頑張ってください。

つぎに、新入生の皆様、150年の伝統ある立正大学
へのご入学、おめでとうございます。在学生の皆様
は、新しい学年を迎えられました。しかし、本来の大学
生活を送ることができないことで辛い思いをされて
いるかと思います。オンライン授業を受け、キャンパ
ス内で学友や先生方と会うこともできず、不安な日々
の中で環境の大きな変化に戸惑いを感じていることと
お察しします。そんなコロナ禍の厳しい状況の中で、

大学生として最善を尽くされている皆様はとても素敵
です。

皆様の貴重な青春のときを台無しにしているコロナ
禍は、社会にどのような影響を与えるか、どのように
向き合えば良いのか、答えは出ていませんが、人々の
努力で近いうちに必ず対応策が確立されると思いま
す。学友とともに授業を受け、課題に追われる日が必
ずやってきますので、今は耐えてください。

日本人は、長い歴史の中で何度も感染症の洗礼を受
けて苦しめられ、見えない敵と闘ってきました。その
名残が節分の豆まきであり、京都の祇園祭などです
が、今では年中行事として日本文化に息づいていま
す。今は困難な時期ですが、私たちの生き方を見直す
チャンスかもしれません。当たり前が当たり前でなく
なった今、在学生の皆様に新しい価値観が生まれると
思います。その結果、大学の在り方や働き方が大きく
変わるかもしれません。新しい世界を作っていくのは
あなた方なのです。

一方、夢を持って立正大学に入学して勉学している
在学生の中で、経済的理由によりやむなく休学や退学
をせざるを得ない方が生じています。勉学を続けるた
めには支援が必要です。そこで今回、同窓会はコロナ
禍で困窮した方に向け寄付をさせていただきました。
在学生の皆様、応援していますから、困難にめげずに
頑張ってください。

最後に、在学生支援を活動の大きな柱としている同
窓会は、寄付以外にも様々な支援活動をしています。
教職に就こうとする在学生への支援プロジェクト、稲
作農家と新潟県支部が協同しながら在学生支援を行う
地域協同事業、何でも相談できる女性部を立ち上げま
した。不安や迷いを抱えている在学生の方は、是非身
近な都道府県支部の先輩に声をかけてください。

穏やかな日常、皆様に近いうちに充実した生活が戻
ること、素晴らしい人生を送られることを祈念して、
お祝いのメッセージとさせていただきます。

令和3年度

校友会主催講演会・同窓会定期総会・懇親会に関するお知らせ

例年6月に開催しております校友会主催講演会、同窓会定期総会・懇親会の開催につきましては、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の状況が不透明であり、ご参加いただきます卒業生の皆様の安全・安心を考慮し、開催を延期とさせていただきます。

なお、11月に予定しておりますホームカミングデーにて卒業生の交流の場を開催する予定でございます。詳細につきましては、改めてご案内申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止による家計急変学生への奨学金支援

立正大学同窓会では、新型コロナウイルス感染防止等の対策により、経済的苦境に立たされた在学生の勉学継続の一助となるよう5,000,000円を支援する事と致しました。

11月11日に齊藤同窓会長より、吉川学長へ目録の形で奨学支援金を贈呈しております。



新潟県支部発案による強化クラブへお米を贈呈

新潟県支部からの発案により「強化クラブへ新潟県産こしひかりを贈呈し、体力をつけて頑張っ
て欲しい」との趣旨から地元で無農薬栽培を行っている上野様に作付け・生育・収穫・精米・
発送等の作業を委託し、精米720kgを硬式野球部・サッカー部・ラグビー部（男子・女子）・陸
上競技部の駅伝部門へ贈呈しました。

同窓会本部では地域発案により在校生支援の活動の幅が広がることを期待しております。



生産者の上野様より齊藤会長へお米の引渡しが行なわれました



令和2年度課外活動顕彰

～ 頑張った在校生へ同窓会より祝賀を贈呈 ～

令和2年度の課外活動顕彰が発表され、頑張った在校生へ同窓会より祝賀を贈呈しました。
顕彰された在学生の皆様です。

【団体部門】

- ◆ 体育会水泳部
- ◆ 体育会弓道部
- ◆ 独立団体吹奏楽部

【個人部門】

- ◆ 体育会水泳部 倉田拓海さん
- ◆ 体育会水泳部 牛丸真秀さん
- ◆ 体育会水泳部 内藤雄也さん
- ◆ 体育会水泳部 高久麻希さん
- ◆ 体育会射撃部 関野優真さん
- ◆ 体育会射撃部 小西豪さん
- ◆ 体育会射撃部 岩田怜土さん

支部総会・学部同窓会総会開催のご案内

各都道府県支部・各学部同窓会では支部での活動として支部総会や講演会等を開催しております。

【東京多摩支部】

- ◆ 6月6日(日) 17:00～(受付:16時30分～)
- ◆ 八王子エルシィ
(住所) 東京都八王子市八日町6-7
(TEL) 042-623-2111
- ◆ 記念講演会・支部総会・懇親会

【新潟県支部】

- ◆ 8月28日(土) 14:00～
県立歴史博物館(新潟県長岡市関原町)
 - ◆ 研修会・支部総会
- ### 【社会福祉学部同窓会】
- ◆ 6月6日(日)
 - ◆ 総会
 - ◆ 問い合わせ: rfukusi@yahoo.co.jp

((支部総会・学部同窓会総会全体の問い合わせ: 学長室校友課 alu@ris.ac.jp))

立正大学同窓会会則改正について

令和2年度第1回立正大学同窓会代議員会での書面議決により令和2年8月29日に「立正大学同窓会会則改正(案)」が承認されました。

つきましては、新型コロナウイルス感染防止対応により、対面での定期総会開催が難しい状況であることから、今回立正大学校友会報へ「立正大学同窓会会則改正(案)」を掲載させていただきます。立正大学同窓会会則改正(案)に関する承認・否認につきましては、同封の「立正大学同窓会会則改正について」の葉書にてご返信くださいますようお願い申し上げます。

【立正大学同窓会則 新旧対照表】

改正案	現行
<p>第3章 役員</p> <p>第8条 役員の出選は次の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長は代議員会において、正会員の中より選出する。 2 副会長は各学部より1名(兼理事)を選出し、理事会において承認する。 3 理事は代議員会において代議員の互選により選出する。 4 代議員は各学部の正会員の中から各6名(副会長を含む)、および各支部の正会員の中から各1名を選出する。 5 本部事務局長は立正大学学長室校友課長に委嘱する。 6 監事は代議員会において、正会員の中から選出する。監事は他の役員を兼務できない。 <p>第5章 会議</p> <p>第12条 本会に次の会議を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全国大会 2 代議員会 3 理事会 4 会長・学部の会長 5 各種委員会 <p>第13条 前条の会議は、会長がこれを招集する。ただし、各種委員会においては各種委員会委員長と併記で招集する。</p> <p>第14条 全国大会は、毎年1回これを開催する。</p> <p>第15条 全国大会は、会員相互の交流と懇親を図るとともに、母校や地域社会に貢献できる機会を設ける。</p> <p>第16条 代議員会は、会長・副会長・理事・代議員・本部事務局長をもって組織し、毎年1回以上これを開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 代議員会は、本会における最高意思決定機関として、次の事項を審議し、決定する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 第8条に定める役員承認 ② 本会則の改正 ③ 事業報告および決算 ④ 事業計画および予算 ⑤ その他必要な事項 <p>第17条 理事会は、会長・副会長・理事・本部事務局長をもって組織し、本会における会務執行機関として、必要のつどこれを開催し、事業の企画立案を行い、会務を執行する。</p> <p>第9章 附則</p> <p>第29条 本会則の改正は、代議員会の議を経て、これを定める。</p>	<p>第3章 役員</p> <p>第8条 役員の出選は次の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長は代議員会において、正会員の中より選出し、総会において承認する。 2 副会長は各学部より1名(兼理事)を選出し、理事会において承認する。 3 理事は代議員会において代議員の互選により選出し、総会において承認する。 4 代議員は各学部の正会員の中から各6名(副会長を含む)、および各支部の正会員の中から各1名を選出し、総会において承認する。 5 本部事務局長は立正大学学長室校友課長に委嘱する。 6 監事は総会において、正会員の中から選出し承認する。監事は他の役員を兼務できない。 <p>第5章 会議</p> <p>第12条 本会に次の会議を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 定期総会および臨時総会 2 代議員会 3 理事会 4 会長・学部の会長 5 各種委員会 <p>第13条 前条の会議は、会長がこれを招集する。ただし、各種委員会においては各種委員会委員長と併記で招集する。</p> <p>第14条 定期総会は、毎年1回これを開催する。臨時総会は会長が必要と認めるとき、または理事会の決議に基づきこれを開催する。</p> <p>第15条 定期総会は、次の事項を報告し、承認を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第8条における役員選出 2 本会則の改正 3 その他必要な事項 <p>第16条 代議員会は、会長・副会長・理事・代議員・本部事務局長をもって組織し、毎年1回以上これを開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 代議員会は次の事項を審議決定し、必要に応じて総会に上程する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 事業報告および決算 ② 事業計画および予算 ③ その他必要な事項 <p>第17条 理事会は、会長・副会長・理事・本部事務局長をもって組織し、必要のつどこれを開催し、案件の企画・立案をし、会務を執行する。</p> <p>第9章 附則</p> <p>第29条 本会則の改正は、代議員会の議を経て、総会において承認する。</p>

誠実に生きましょう

立正大学郵政会 会長 市川 幹



郵政会在学生・卒業生、全国郵政会員、剣道部の皆さん、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は物心ともに支援を頂き、郵政会も校友会の一団体として、立正大学の発展に貢献し

ております。

昨年は、新型コロナウイルスの拡大に伴い、政治・経済・社会・大学の活動等一時自粛され、校友会活動も郵政会活動も自粛されました。家庭環境も、企業活動も、社会活動もIT・AI・デジタル化が急速に具現化し、私達の生活に浸透してきています。人との接点を避け、令和の時代を回そうとしているようです。教育の分野でも「対面授業」から「オンライン授業」へ、営業活動も、会議も、在宅勤務が普及し「テレワーク」により、「オンラインを酷使している」のが今の状態です。

今年も多く多くの学生が卒業し、日本郵政に内定を貰いました。日本郵政の増田寛也社長が年頭のご挨拶で、経営理念について「お客様と社員の幸せ」「社会と地域の発展への貢献」を使命とする経営理念を強調されました。

今年は郵政事業にとりまして、前島密翁氏が事業を創業してから150年という節目の年を迎えます。人と人との絆を大切にしてきた郵政事業です。いくらIT・AI・デジタル化が進んでも、主体は人間です。人と人との信頼関係が薄くなったら、社会活動は成り立ちません。社会人になったら、職場で信頼される、お客様から信頼される、地域の皆様から信頼されると共に、立正大学の教育目標『モラリスト』を存分に発揮して頂きたく望んでおります。その為に、すべてに誠

実に対処する事です。誠実であることこそ、信頼を得る事です。しかし、自分は常に誰に対しても誠実であっても、相手が誠実でない事を見抜く眼力を常に持つ事も大切です。

毅然とした独り立ちの人生を送ることが出来ると思います。

幾多の関門を乗り越えて、初心に従い、ご入学された新会員の皆様、立正大学の教育目標『エキスパート』になる為に、先生の指導を受けてください。各分野の第一人者の先生ばかりです。先生と、とことん議論して先生と親しくなってください。また親友を作ってください。相手に誠実でなくては、親友は出来ません。友達に対して礼儀を持って常に接する事です。期待しています。

会員情報で、郵政会員で新型コロナウイルスに感染したという情報は入っていません。

茨城県で会員が市長に当選いたしました。

郵政機関紙に「短歌」「写真」「水彩画」等入選している会員、社会福祉事業、自治会等役員として活躍している会員もたくさんいます。寿命100年時代に社会貢献寿命も延びました。会員の健康長寿を願ってやみません。

郵政会活動は昨年同様「郵政会研修」「本部役員会」「総会」「全国支部長会議」「校友会協働連携に参加（ホームカミングデー）」等に参加。郵政会も誠実に前進していきましょう。

2021年4月熊谷キャンパスにデータサイエンス学部開設、社会の要請に応える「行動データの分析」「課題と戦略」「専門的知識の構築」等を目的とする学部。また2022年立正大学学園開校150周年記念です。記念事業に取り組んでおりますので、是非ご協力をお願いいたします。

ご挨拶

立正大学橘会 会長 菊池 稔



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

4月からの新たな学生生活を、楽しみにしておられることと思います。

橘会は、保護者の会として、皆さんの学生生活をより楽し

く、より充実したものとなるように、支え応援していくことを目的に活動をしています。

また、新たな奨学金設立など、将来に向けた準備を進めています。

皆さんは、コロナ禍という例年になく特異な環境の中、多くの希望と期待と決意をもって、新しい生活に臨まれることと思います。社会の変動に一喜一憂することなく、目的を持ちながら前を向くことで、自分の進むべき道を見つけてください。迷う事も遠回りの道も、全てが身になる時だと思えます。新しい仲間を作りながら、多種多様な経験を重ねて、少しずつ視野を広げ、大学生活を実りのあるものにして下さい。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

3月に卒業された皆さんは、難しい一年を経験しました。しかし、立正大学での生活を糧に、少しずつでも、明るい未来に向かって、突き進んで下さい。最後までやり切った事が、今後の自信に繋がると思いません。

業績の向上してきている会社も多く出てきています。立正大学を巣立った方々が、社会の更なる飛躍の力になるように、保護者の皆さん共々、引き続きの応援を惜しみません。

在学生の皆さんは、いろいろな我慢を強いられてきましたが、橘会を始め、多くの方々が、いろいろな工夫を凝らし、実りある学生生活になるよう努力してお

ります。ワクチン接種の開始による今後の明るい未来を信じ、諦めることなく、日々の勉学に励んでいただくことが、今、最も意義のあることだと思います。

保護者の皆様におかれましては、日頃より橘会の活動にご理解・ご協力を頂きまして大変ありがとうございます。橘会は、校友会の構成団体として大学と連携し、保護者の立場から学生達を支援しています。今年度も、各地キャリアサポートセンターの先生方に面接をしていただく校友会保護者懇談会や秋の品川キャンパスでの就職報告会など、卒業後の“就職”を話題としたイベントを企画していきます。

これらは、在学生の学年・学部を越えた保護者同士の交流の場ともなっております。品川・熊谷の両キャンパスおよび地元会場に、積極的にご参加いただき、教科の成績、大学の雰囲気、就職の傾向など、学生達と共に考える情報取得の機会としてご活用ください。

さらに、在学生支援として、毎年、橘会奨励賞を授与し、文化・スポーツ・地域活動など、ジャンルを問わない応援を行っております。在学中の成果を形にすべく、挑戦していただきたいと思えます。

また、新1年生には、災害支援セットを配布し、“もしも”の時の備えを、支援しています。

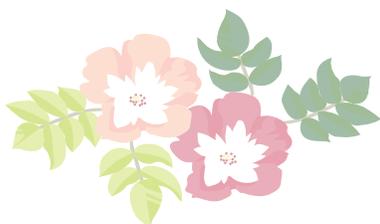
最後に、保護者の皆様には、橘会の活動の主旨・内容にご賛同いただき、積極的なご参加をお願いいたします。例えば、年度末に行う役員意見交換会では、学生達のより良い学生生活の実現に向けた施策を議論しています。できるだけ、多様な意見を取り入れ、結果を大学側との議論に加えるなどしながら、橘会の発展・成長にも繋げていきます。

立正大学で学ぶことを楽しみ、卒業できたことを誇りに思えるように、保護者として皆で環境づくりを楽しんでいきましょう。宜しく願い申し上げます。

令和3年度
立正大学橘会定期総会開催のご案内

令和3年度の立正大学橘会定期総会は、新型コロナウイルス感染防止対応を考慮しながら、6月下旬の開催を予定しております。

開催日程につきましては、後日送付致します「立正大学橘会定期総会開催のご案内」をご確認いただき、「立正大学橘会定期総会出欠はがき」にて必要事項をご記入の上お申込下さい。



予定内容

【第1部】橘会奨励賞表彰式

【第2部】橘会定期総会

- ◆令和2年度事業報告・収支決算報告について
- ◆令和3年度事業計画(案)・収支予算(案)について
- ◆令和3年度橘会役員選出について
- ◆学生支援事業について
- ◆その他

【ご参加頂くにあたってのお願い】

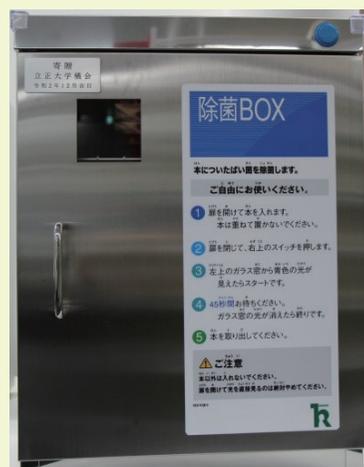
- *当日、体調の優れない場合にはご参加をお控えくださいようお願い申し上げます。
- *ご参加いただきます場合には、マスクの着用、会場内は密を避けてソーシャルディスタンスを保っていただきますようお願い申し上げます。
- *密状態を避けるため、事前のお申込の方のみのご出席とさせていただきます。

図書館へ書籍除菌BOXを寄贈しました

橘会では、新型コロナウイルス感染症対策に伴う、在学生の図書館利用の利便性のために、学生支援として、品川キャンパス・熊谷キャンパスに各1台「書籍除菌BOX」を寄贈しました。

「書籍の除菌BOX」は書籍に付着したウイルスや菌を紫外線により除菌できるものです。

橘会では、在学生の皆様が安心して図書館を利用できることを願って、寄贈しました。



『数字のパズル』について

有田 周市

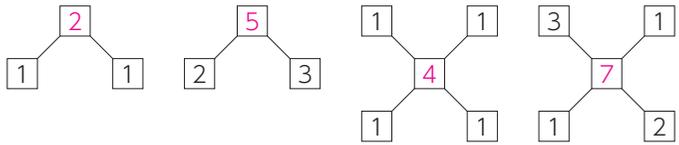
数字は時代を通じて何処へ行っても、生活をしていく上で私達にとって必要不可欠なものです。私達は四則計算を活用することで、数字を身近な所で簡単に操ることができます。これは私達が日常生活を無事に送っていく上で、極めて重要なことのうちの1つだと思います。このパズルの基本的な形は、算数が苦手だった少年時代の私のふとした思い付きによるものです。パズルを解くことを通じて自動的に足し算・引き算、それに加えて場合によっては掛け算及び割り算に準じたものができます。

このパズルを作成した本来の目的は、老人施設で過ごされているお年寄の人達に、楽しみながら数字を利用して遊べそうなものを提供したり、このパズルを通じて、もし数字のことを忘れがちであれば、もう一度、数字を自由に使えていた若かった頃の記憶までも呼び起こす様なきっかけ作りになることを願ってのことです。

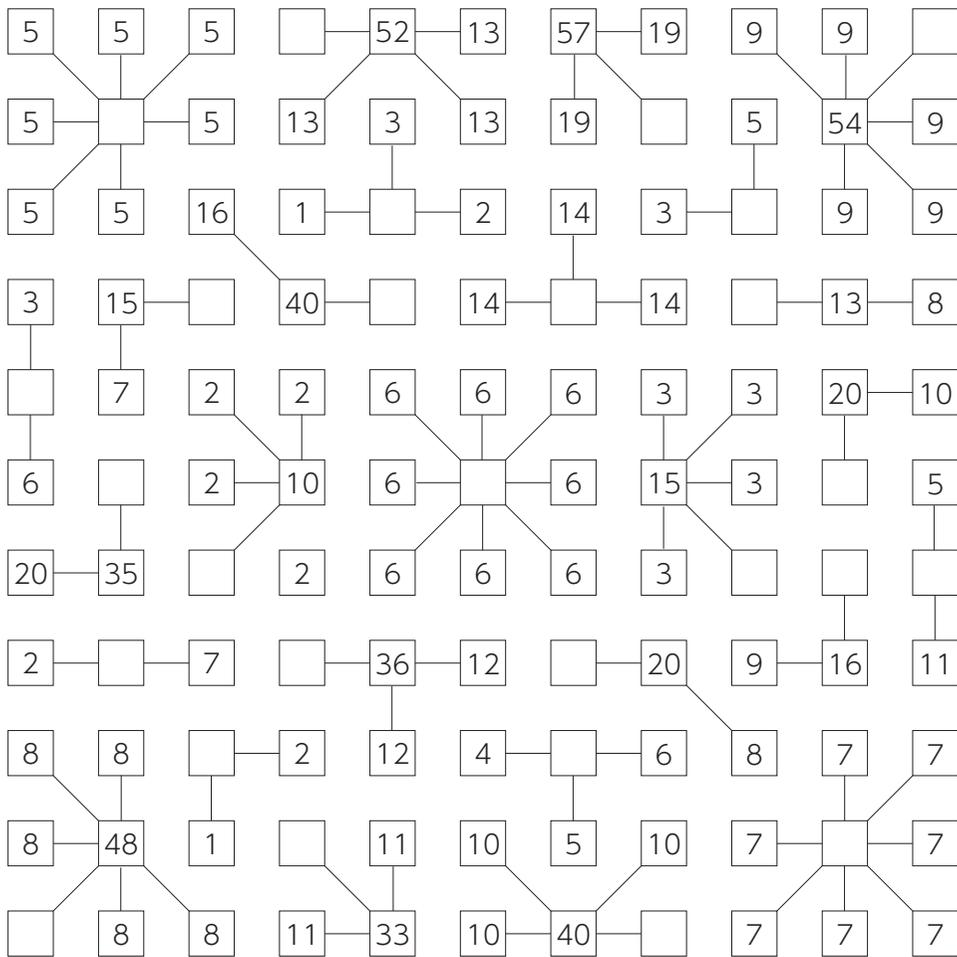
このパズルは、お年寄の方に限らず、幅広い年代の方々にも楽しんで頂けるように作ってみましたので、もし関心を持たれた方がいらっしゃれば、誌上でお付き合いをしてみてください。そうした方が1人でも多ければ嬉しいです。

数字のパズルの説明

『数字のパズル』の基本的な形は次のようなものです。こうした形を発展させて、図形的なパズルを作成しました。



作図 作画 有田周市



*このパズルの回答は次号10月号にて掲載いたします。

INFORMATION

令和3年度校友会費B (卒業生・現元教職員会費)のご案内

昨年度は校友会費Bにご協力を賜り御礼申し上げます。

ご協力いただきました会費は同窓会活動ならびに在校生支援に活用させていただきます。

令和3年度につきましても、多くの卒業生・現元教職員の皆様にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 令和3年度 校友会費Bについて

会費	年会費
納入期間	2021年4月1日～2022年3月31日
納入回数	年会費のため、上記期間内1回
氏名掲載	校友会費Bをお振込みいただきました方のお名前を会報に掲載させていただきます。つきましては、掲載を「許可する」、「許可しない」のご希望をお伺いしております。お手数ではございますが、振込用紙の通信欄に記載がございますので、どちらか一方に○印をお付けいただき、お振込くださいますようお願い申し上げます。 なお、どちらにも記載が無い場合には原則掲載を「許可いただいた」ものとして掲載させていただきます。ご了承ください。

02 東京 払込取扱票 通常払込科 個人名義用
00100000417250 3000
立正大学校友会
校友会費B
立正大学校友会
【必ずどちらかに○を印付けください】
会報誌には本人またはご本人等へご本人の掲載を
許可します。・ 許可しません
※長年の請求事項をお読みください。(印字も印刷) (印刷番号 更新日10年)
これより下部には宛先記入しないでください。

立正大学生涯メールに 関するご案内

立正大学では、卒業生・修了生が卒業後も使用出来るメールサービスを行なっております。

同窓生同士の交流を始め、大学との情報交換等にご利用頂ければと存じます。

メールサービスは無償・永年利用可能となります。ただし、生涯メール利用のお申込後、1年間メールサービスへのログインが無かった場合は、メールサービスの管理上、利用を停止させていただきますので、ご了承ください。

なお、メールご利用の再開につきましては、学長室校友課宛にご連絡をください。ご利用再開のお手続を行わせていただきます。生涯メールにつきましては、校友会ホームページへも掲載がございますので、併せてご参照ください。

[【立正大学校友会ホームページ】](https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html)

<https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html>

[【お問合わせ先】学長室校友課 \(TEL\) 03-3493-6673](tel:03-3493-6673)
(Email) alu@ris.ac.jp

校友会会員情報について

ご登録を頂いておりますお名前・ご住所・電話番号・勤務先等のご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡ください。

【変更内容】

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先・職業

*変更に関するご連絡を頂く場合には、校友会会員番号(校友会報・学園新聞宛名下にある番号)を併せてお知らせください。

【お問合わせ・お届け先】

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

☎03-3493-6673 FAX: 03-3493-9068

Email: alu@ris.ac.jp

専用用紙は立正大学校友会ホームページよりダウンロード頂けます (<https://alumni.rissho.jp/inquiry/data.html>)

【お知らせください】

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の方のご活躍情報ございましたら、お寄せ下さい。

教職員訃報

【令和2年8月1日～令和3年3月31日】

名誉教授	松原 達哉 氏 (令和2年8月9日 逝去)
元文学部教授	吉田 夏彦 氏 (令和2年8月13日 逝去)
元文学部教授	竹内 誠 氏 (令和2年9月6日 逝去)
非常勤講師	中牧 崇 氏 (令和2年10月5日 逝去)
付属中学・高等学校元校長	大江 恒雄 氏 (令和2年10月12日 逝去)
経済学部教授	池尾 和人 氏 (令和3年2月21日 逝去)
元大学事務局キャリアサポートセンター付課長	板倉 薫 氏 (令和3年3月31日 逝去)

謹んで哀悼の意を表します



発行者

発行人

編集

電話

URL

立正大学校友会

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

立正大学長・校友会長 吉川 洋

立正大学学長室校友課

03-3493-6673

<https://alumni.rissho.jp/>